

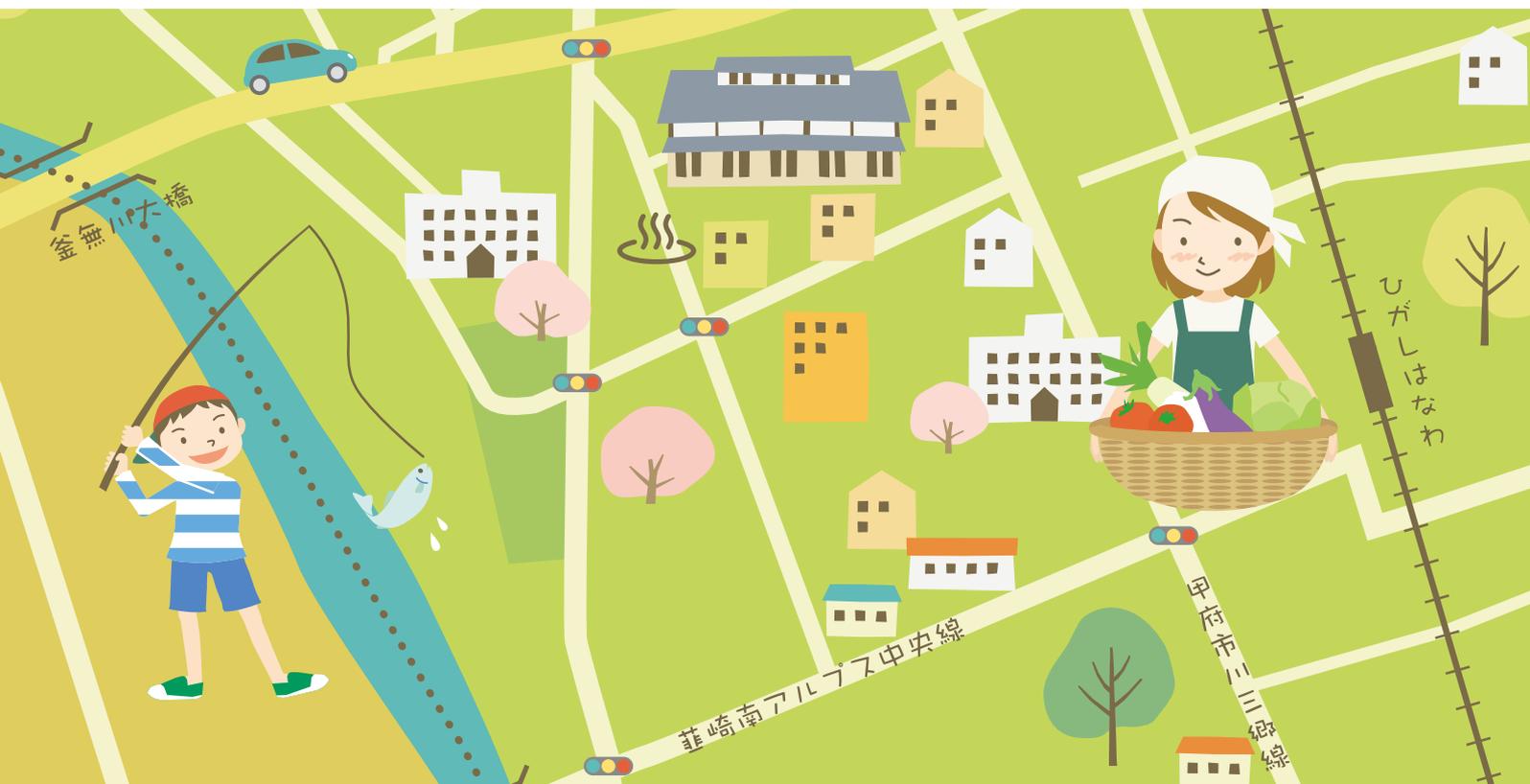


山梨県中央市

日本の真ん中、人が真ん中！中央市

Mannaka

暮らしやすいまち



山梨県中央市 実り豊かな生活文化都市

ビジュアルコンテンツ

日本の真ん中に位置する**山梨県中央市**には、トマトやスイートコーンに代表される大地の恵みから、最先端のリニア新幹線まで、バラエティに富んだ魅力が満載。**住みよさランキング** (2015年)でも、**32位**にランキングされました。

中央市立図書館



蔵書冊数、貸出数、日本一 ……P18

山梨大学医学部



地域医療の拠点 ……P13

たかお高やん



中央市キャラクター ……P21

あさりよいち 浅利与一



中央市キャラクター …… P21

待機児童ゼロの保育園



守り育み未来へつなぐ …… P16

青春のトマト焼そば



懐かしくて斬新な青春の味 …… P12

農業で幸せになろう



中央市の農業 ……P8

豊富郷土資料館



施設紹介 …… P20

とまチュウ



市内のトマト農園で生まれた
トマトの妖精 …… P21

穫れたて新鮮野菜



肥沃な大地の恵み …… P12

地元で穫れた新鮮ブドウと スイートコーンのワイン「夢」 スイートコーン100%焼酎 「恵」「とよとみ」



地元で収穫したコーン使用 …… P12

道の駅とよとみ

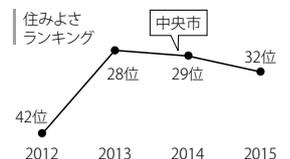


直売所甲子園2009 ……P20
初代グランドチャンピオン

やまなしのへそブログ



日々更新中です …… P23





日本 の真ん中、 人が真ん中、 中央市。

緑豊かな環境に、さまざまな産業が息づく、
活気溢れるまち、中央市。
子ども達の笑い声が、和やかな空気を運ぶ
暮らしやすいまち、中央市。

このまちを創り上げているのは、
このまちを愛する、たくさんの人達です。

迫るリニア新幹線の開業で、さらなる発展が期待されるなか、

このまちに関わるすべての人が、

豊かで快適な生活を送ることのできる

まちであり続けられるよう、

これからも、市民の皆様と共に歩み、共に働き、

輝く未来に向かって、進化を続けていきます。

空から見た中央市



QRコードを読み込むと中央市の
360°パノラマVRがご覧頂けます。

Contents

- 2 未来につなげたい、心のにこる中央市の風景
中央市フォトコンテスト
- 3 実り豊かな生活文化都市を目指して
中央市長 田中 久雄
- 4 夢のプロジェクトリニア中央新幹線
- 6 胸躍る未来へ ~まち・ひと・しごと、そして みどり
「人が真ん中」の中央市の未来~
- 8 特集 1 農業で幸せになろう
- 12 太陽の恵みがいっぱい地元食材で生み出す、育てる、
おいしい特産品がたくさんあります。
- 13 特集 2 学びの殿堂、地域医療の拠点
- 16 特集 3 守り育み未来へつなぐ
- 18 特集 4 文化の醸成 ~日本有数の図書館が紡ぐ文化~
- 20 施設紹介
四季新鮮収穫広場「た・から」農産物直売所
道の駅とよみ シルクふれんどりい
- 21 日本の真ん中、人が真ん中！中央市
- 22 自治力の拠点づくり
- 25 暮らしの拠点づくり
- 28 やすらぎの拠点づくり
- 31 活力と交流の拠点づくり
- 34 中央市誕生10周年記念座談会 田中市長×成人を迎える皆さん
ふるさとの将来について夢を語る。
- 36 開かれた議会運営で、市政の発展をめざす。
- 37 主な施設

中央市ブランド米「^{とみほ}富穂」



安心・安全な美味しいお米……P12

リニア中央新幹線



2027年開業予定 …………… P4

未来につなげたい、 心にのこる中央市の風景

—— 中央市フォトコンテスト ——



最優秀賞 春の園 田中 進(中央市)



季節賞(春) 乙黒桜満開 松村 央男(中央市)



季節賞(夏) 夏空を飛ぶ 文珠川 史(甲府市)

中央市10年の歩み

- 平成18年 2006年
 - 2月20日 玉穂町・田富町・豊富村が合併し、中央市が誕生
 - 4月9日 中央市長選挙が行われ、初代中央市長に田中久雄氏当選
 - 5月21日 中央市消防団初団式
 - 5月23日 農産物直売所「たから」オープン
 - 12月1日 市章、市の花、木、鳥を制定
 - 12月19日 国立大学法人山梨大学と包括的連携に関する協定を締結
- 平成19年 2007年
 - 1月10日 中央市国際交流協会設立
 - 2月20日 市制施行1周年(3月3日 記念式典開催)
 - 4月28日 豊富図書館オープン
 - 6月 「つじいの広場 笑(えみ)」開設
- 平成20年 2008年
 - 4月 小学校に入学する新1年生全員に本を贈る「新入生ブックプレゼント」はじまる
 - 6月 ファミリーサポートセンター「みらいサポート・ちゅうおう」開設
 - 8月 中学校海外語学研修を開始
- 平成21年 2009年
 - 2月20日 中央市教育の日(まごころの日)を制定
 - 3月14日 新山梨環状道路南部区間開通
 - 4月22日 ドリームコア中央完成
 - 7月21日 コミニティバス運行開始
 - 10月14日 道の駅とよとみが、直売所甲子園2009 初代グラウンドチャンピオンに輝く
- 平成22年 2010年
 - 3月21日 中央市長選挙 田中久雄氏2期目当選
- 平成23年 2011年
 - 2月20日 市制5周年記念式典を開催・市民憲章を制定
 - 11月15日 医大南部区画竣工
- 平成24年 2012年
 - 1月31日 静岡県御前崎市と災害時等の相互応援に関する協定締結

実り豊かな 生活文化都市を目指して

中央市は平成18年2月20日に、玉穂町・田富町・豊富村の2町1村が合併し、平成28年2月に大きな節目となる10周年を迎えることができました。

これまで、市民の皆様をはじめ日頃よりご支援、ご協力をいただいている皆様とともに、地域と人との連携や交流を通じて新市の一体感を醸成することができましたことに心より感謝申し上げます。

これまでの10年を振り返り、誰もが住みたくなる、住んでよかったと思えるまち「実り豊かな生活文化都市」を目指してまいりました。住みよさランキング2015では、全国で総合32位、利便度では全国6位と大変すばらしい評価をいただきました。この豊かな自然と都市機能を活かしながら、今後は2027年開業予定のリニア中央新幹線の計画も進んでいる中で、周辺整備を含め広くご意見をうかがいながら中央市の魅力を高め、市全体の活性化につながるような形を作っていくと考えております。また、全国的な人口減少にも対応し、子育て世代の定住・流入を増やし、活力あるまちを将来にわたり持続していけるよう、総合戦略のひとつの柱として進めているところであります。

10年後、20年後もこの中央市に住んでよかったと思える、実感していただけるまちづくりを皆様と協働で取り組んでいきますよう、今後ともより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



季節賞(秋) 夕映え 藤本 治男(甲府市)



季節賞(冬)
夜へ続く時間
遠藤 欣也(中央市)



優秀賞 散歩道 長田 幸子(甲府市)



中央市長
田中 久雄

- 2月1日 静岡県牧之原市と災害時等の相互応援に関する協定締結
- 3月 中学校3年生を対象に本を贈る「卒業生ブックプレゼント」はじまる
- 5月7日 中央市昭和町障がい者相談支援センター「穂のか」開所
- 平成25年 2013年
 - 4月18日 東花輪駅前リニューアル
 - 11月 第28回国民文化祭やまなし2013 中央市主催事業開催
 - 12月3日 浅原橋(新橋梁)開通
- 平成26年 2014年
 - 2月15日 山梨県の観測史上最大を記録する積雪(114センチ)
 - 3月23日 中央市長選挙 田中久雄氏3期目当選
 - 11月14日 中央市ブランド米「富穂」が第46回山日YBS農業賞の奨励賞受賞
- 平成27年 2015年
 - 3月3日 コミュニティバスの愛称「とまちユupas」に決定
 - 10月1日 子ども医療費窓口無料化の対象を中学3年生まで拡大
 - 10月16日 市制施行10周年記念事業ラジオ公開収録開催
 - 12月13日 「たから」来館者150万人達成



山梨リニア実験線

夢のプロジェクト リニア中央新幹線

日本独自の技術が生んだ未来の乗り物、リニア中央新幹線。開業へのカウントダウンがすでに始まっています。リニア新駅の設置決定を受け、隣接する中央市でも、その効果を、すべての市民が享受できるように、そして市の未来へつなげるよう、品川―名古屋間が開業する2027年に向けた、新たな取り組みが始まろうとしています。



リニア中央新幹線想定ルート
※駅名はすべて仮称・予定です



リニア中央新幹線は、東京―大阪間(約438キロメートル)を、日本独自の技術、超電導磁気浮上方式(通称・超電導リニア)を用いて時速500キロメートルで結ぶ、まったく新しい新幹線です。



The dream project Linear Chuo Shinkansen

The future train system, “Superconducting Maglev,” that is born from genuine Japanese technology. Its countdown is already started. An announcement says there will be a station constructed in Yamanashi prefecture. Our Chuo city are taking a new plan that will be beneficial to all residents and to city development toward the future, preparing for its train route completion between Tokyo and Nagoya in the year of 2027.



中央市に隣接するリニア新駅設置予定の
甲府市大津町



リニア中央新幹線の始発駅となる品川駅

これからも、リニア
効果を市全体、市民
すべてが享受できる
よう、中央市の未来
のために積極的な施
策を展開し、市民の
皆様との絆と結束を
高め、未来につなげて
いきたいと考えてい
ます。

JR東海(株)では、全線開通(2037年予定)に先
立ち、2027年に品川―名古屋間を開業する予定
としており、完成すれば、品川駅まで25分、名古屋駅ま
で45分という速さでの移動が可能になります。
市では、「中央市リニア活用基本構想検討委員会」
を設置し、市民の皆様をはじめ有識者等から広く意見を
求めつつ、市役所内に設置した「リニア活用推進本
部」を中心に、リニア中央新幹線の効果を最大限に活
かしたまちづくりのあり方や、地域の魅力を高め、市全
体を活性化させる方策について検討しています。

胸躍る未来へ

「まち・ひと・しごと」そしてみどり
「人が真ん中」の中央市の未来へ

「人」がいるから、

「しごと」が生まれる。

「しごと」があるから、

「人」が集まる。

クルクル回る「人」と

「しごと」の輪の中で、

磨かれ、輝きを増す

私たちのまち 中央市。

緑豊かな豊穡の大地に、

胸躍る未来図が描かれていく。



まち

住みよさランキングトップ30にも
選出された美しい文教地域。
リニア中央新幹線の開通を前に、
さらなる発展に期待がかかる。

恵まれた自然を活かしつつ、都市機能の向上と生活環境の整備に取り組んできた中央市。基幹道路や大型ショッピングセンターの登場で、利便性もさらに高まっています。開院から30余年を経て、最先端の医療機関へと再整備が進む山梨大学医学部附属病院や、隣接地域に設立されるリニア中央新幹線の山梨県駅を核とした、新たな発展にも期待が寄せられています。

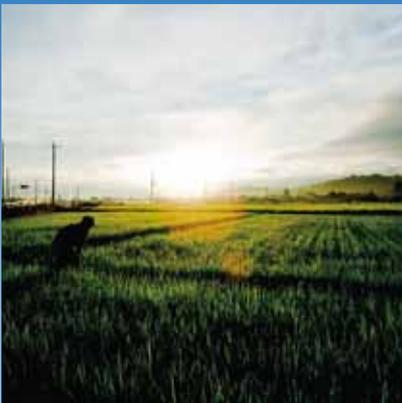




みどり

豊かな自然と
人々の営みが創り出す、
心安らぐ原風景を、
これからも守り、未来へつなぐ。

南に富士山、北に八ヶ岳、西に南アルプスの山々を望む、豊かな自然に囲まれた中央市。首都圏までわずか1時間半の距離にありながら、今なお広がる田園風景は、住む人の心の拠り所であり、訪れる人々の心をも癒してくれる大切な宝物。先人から受け継いだ、日本の原風景ともいえるこの風景を、これからも大切に守り、未来へとつないでいきます。



しごと

地域特性を活かした産業振興で、
整備が進む雇用環境。
新たなワークスタイルも拡大中。

地域的特性を活かした産業が発展してきた中央市。幹線道路の完成により、首都圏とのパイプもより太くなるなか、工業製品や各種原料等の供給地としての評価も高まっており、さらなる優良企業の誘致も期待されます。一方農業では、農産物のブランド化や海外進出をも見据えた販路拡大など、都市近郊型農業としての発展を目指すなか、若い後継者も登場し、可能性が広がっています。



ひと

平均年齢42.35歳。次代を担う
子どもたちに、「生きる力」と
「まごころ」を育み、すべての人が
生き活きと、日々暮らせる社会へ

誕生から終焉まで、切れ目のない支援体制で、一人ひとりの市民の皆様の実りある人生を応援している中央市。保育、教育の充実を図るとともに、子育てと仕事が両立できる環境づくりや、高齢者の生きがいづくりにも積極的に取り組んで、すべての人が、住み慣れた地で、最後の瞬間まで生き活きと暮らせる社会を実現します。





特集 1

農業で幸せになろう

新たな作物の誕生、肥料や農薬の開発、栽培技術の革新など、目覚ましい進化を続ける日本の農業。

富士山を望む肥沃の大地で、若い力が躍動しています。

米作の未来を照らす、 ブランド米「富穂」

仲間と共に

ブランド米の開発に奮闘

中央市内にある「農事組合法人 種をまく人」の倉庫。収穫したばかりの新米が、うず高く積みまれています。「これが『富穂』です。今年はなかなかの豊作で、良いコメができたんですよ」代表の納見博文さんが声を弾ませます。

「富穂」は、中央市のブランド米。コシヒカリと黄金晴を交配した中央市の特産「ヒノヒカリ」を、農薬も化学肥料も通常の半分以下に抑え、手間暇かけてじっくり育てた、安心安全で美味しいお米です。

本格的な栽培が始まって2年。市場での評価は上々で、2016年6月から3か月間、ANAの国際線ファーストクラスの機内食に採用され、「山梨のプ

「農事組合法人 種をまく人」代表の納見博文さん



ランド米「富穂」と紹介されることが決まりました。将来的には、東京で指名買いされるようになりたいと考えており、そのためには、知名度を上げ、取

黄金色の稲穂を収穫





中央市が誇るブランド米「富穂」

扱店も生産量も増やしていきたいと意気込む納見さん。「田富地区は土地柄がよく、古くから米作が盛んに行われていたのですが、近年では、米よりも採算性の良いトマトやキュウリの栽培が盛んになり、加えて高齢化による耕作放棄地も目立ち始めていました。『富穂』には、頑張つて良い物を作れば収入も上がるという希望や、耕作放棄地の解消につなげたいという願いが込められています。僕らの取り組みによって、米作りに新たなやりがいを見出し、もらえたり、米作りに取り組もうという仲間が増えてくれたりしたら、とてもうれしいですね」。



トマトの養液栽培に取り組む一之瀬芳貴さん

年間を通して安定した収益が見込めるトマト栽培 父から子へ、 そして孫へとつなぐ誇り

家族とともに、トマトの養液栽培に取り組んでいる一之瀬芳貴さん。冬だということにたっぷりの日差しが差し込むガラスハウス内には、トマトやキュウリが整然と並び、食べ頃の実をつけています。「中央市は、日照時間が長く雨が少ない気候、古くから施設園芸農業をしている人が多く技術も高いことから、高品質なトマトが作れる場所。市場でも高い評価をうけ、すでにブランド化しています」。種を撒いてから3か月で収穫が始まり、約1年間は良い



瑞々しいキュウリも栽培

実が穫れ続けるというトマト。一之瀬さんは四千平方メートルのガラスハウスに数種類のトマトを計画的に栽培し、一定量の収穫と安定した収入を確保していると言います。また、採れたての新鮮なトマトを、食べてくれる人の顔を見ながら売っていきたいと始めた直売所には、一之瀬さんのトマトを求めて、市内はもちろん、市外か



長い日照時間と高い技術で培われる高品質なトマト

らも多くのお客さんが訪れます。「やっぱりこのトマトでなくちゃ!」「ほかのトマトは食べられないわ」お客さんの声は、うれしく、やりがいになってると笑顔を見せます。

「農業を本格的に始めたのは父。さまざまな作物に取り組み、試行錯誤の結果、このスタイルに落ち着いたようです。僕は、ずっと父の背中を見てきて、自然に、当たり前に農業を継ぐものと思ってきたので、大学を卒業するときも、東京に未練はありませんでした。今度は僕が息子に背中を見せる番。『パパみたいになりたい』って言ってもらえるよう、頑張っています」。



お客さんの声がやりがいになるという一之瀬さん

新しい就農のカタチ



実践から学ぶ事が多い農業

会社員として 農業を始めるという選択

すでに、農家の子弟が農業を継ぐという時代ではなくっており、地縁血縁といったバックグラウンドを全く持たない人が、山梨で農業を目指すという点も、珍しいことではなくなりました。

そんな中、近年にわかに注目されているのが、農業を業務とする企業。中央市には、「農業生産法人サラダボウル」があります。「当社には、年間

200名ほどの就農希望者が全国から訪れます。ただ、イメージしている農業と実際の農業には違いがあるケースも多いので、最初に1週間、インターンシップとして農業を体験してもらい、『できる!』と自分で判断した方に、社員として働いてもらうようにしています」と野中孝憲さん。農業初心者

も多く、一定期間社員として働いた後に独立する人もいれば、そのまま社員として働き続ける人もいます。新卒。「農業は魅力ある仕事ですが、新

農業の可能性に魅せられて、家族で東京から移住。土や作物と向き合う日々の中で、時間だけでなく、心にもゆとりが生まれています。



農業生産法人サラダボウル
福田 哲也さん

以前から農業に興味があったのですが、調べてみると、農家の出身ではない僕のような立場の者が就農するには、土地を借りたり、農作業のための道具を揃えたりするために、ある程度まとまった資金が必要だとわかったので、正直諦めかけていました。雑誌でサラダボウルの記事を目にしたのは、そんな時です。社員として農業をすることができると希望がわき、妻とも話し合っ、家族で移住し、就農することになりました。

ここへきて半年が経ちますが、生活は一変しました。ラッシュアワーのすし詰めの電車に乗らなくて済むし、帰宅時間が早くなり、家族との時間も増えました。子どもは引越しの翌日から保育園に入り、お友達もできて、以前より活発になりました。妻もパートを始め、新しい生活は順調です。



就農というスタイルが農業を活性化し始めている



お話をしてくださった
サラダボウルの野中孝憲さん

規就農には約1000万円の初期投資が必要になるともいわれており、リスクも小さくありません。『やりたい』という気持ちだけで、明日からでも農業が始められるという意味では、当社のような就農スタイルが、今後増えていくかもしれませんね。』

さまざまなカタチで農業の未来を模索している若い力。力強い生き様が、中央市の未来を支えています。



効率よくすむパッケージング作業

「クリエイティブ」が広がっています。

アカデミックでクリエイティブな農業は、今や憧れの職業のひとつ。就農を希望する人への、支援の輪も広がっています。

耕作放棄地
解消に一役

パンツェッタ・ジローラモさんも、
野菜作りに挑戦中!

都内で家庭菜園をしていたタレントのパンツェッタ・ジローラモさん。知人の紹介で訪れた中央市の自然豊かな環境にすっかり魅せられ、「自分で作って食べた方がおいしさが2倍3倍になる。もっと広い土地で野菜の栽培に挑戦したい」と、市内にある耕作放棄地1,200平方メートルを借り、忙しい仕事の合間に訪れては、トマトやナス、トウモロコシ、唐辛子などを栽培中。高台にある畑からの眺望にも心惹かれるようで、「将来住んでみたい」と話しています。



野菜づくりと共に、中央市をPRし貢献したいというジローラモさん

女性が
イキイキしていると、
まちが輝く。

女性の
就農支援

中央市では就農を希望する女性を応援していこうと、就農しやすい環境等の整備を進めていきます。また、首都圏などへの販路拡大や食の安全、商品デザインに対する女性ならではの感性を取り入れる等、活躍の場も広がっていきます。

太陽の恵みがいっぱい！
地元食材で生み出す、育てる、
おいしい特産品がたくさんあります。

とっても
おいしいでチュウ！

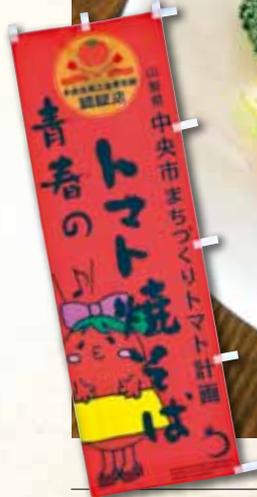


青春のトマト焼そば

ソース味の焼そばの上に、中央市産の完熟トマトと甲州富士桜ポークをじっくり煮込んだミートソースをたっぷりかけました。どこか懐かしく食べると元気になる、中央市の新名物です。

青春のトマト焼そば誕生秘話

「中央市まちづくりトマト計画」を遂行中の商工会青年部。2007年の会合で出たのが、地元の祭りで恒例の青年部屋台焼そばにミートソースをかける妙案でした。早速試食したところ、脳裏に蘇る懐かしい記憶。「これは、学生時代によく食べた某喫茶店の『ミートソース焼そば』じゃないか！復刻でもいい、これを新名物にしよう」と、満場一致で誕生しました。“青春の”には、彼らの「懐かしさと、情熱と、若さ溢れるまちづくりへの想い」が込められています。



まだまだあります。ここならではの味わい。



中央市ブランド米「富穂」

肥沃な沖積土壌で、農薬と化学肥料を減らし大切に育てられたヒノヒカリ。もちもちとした食感で、冷めても美味しいと評判です。



コーン100%焼酎「恵」・「とよとみ」

特産の“ゴールドラッシュ”で醸造した珍しい焼酎。口当たりがよく、飲んだ後に甘く香ばしい香りが、ふわっと鼻に抜けていきます。



ブドウとコーンのワイン「夢」

特産の“ゴールドラッシュ”と豊富産のブドウで醸造した、日本初のトウモロコシワイン。さわやかな甘さが広がる、デザートワインです。



フルーツトマト

サイズも味わいも豊富な中央市のトマト。水分を極限まで減らし、丁寧に育てられるフルーツトマトは、濃厚な甘さが自慢です。



夏野菜の王者「ナス」

夏の日差しをたっぷり浴び、豊富な地下水をしっかりと吸って、元気に育った濃紫色のナス。皮が柔らかく瑞々しい、中央市の特産品です。



スイートコーン「ゴールドラッシュ」

糖度17度以上のフルーティな甘さと、皮の薄さで、絶大な人気を誇る豊富地区の特産品。6月上旬から10月上旬まで楽しめます。



特集 2

学びの殿堂、 地域医療の拠点

全国から学生が集まる山梨大学医学部。

昭和55年の開校以来、地域と共に歩んできた学びの殿堂は、最先端の医療を行う附属病院を携えて、地域医療の発展を根幹で支えています。



心身共に健やかな 市民生活の基盤

地域の次代を担う良き医療者を育成する山梨大学医学部。
附属病院では、最先端の設備を整え高度な医療を提供しています。

昭和55年に旧玉穂町に山梨医科大学を開校して以来、中央市に本拠を置き、「国民に信頼される良き医療者の育成」という教育理念のもと、多くの医療者を世に送り出してきた山梨

大学医学部。平成24年度からは、文部科学省の「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成事業」の採択を受け、「リエゾンアカデミー」を創設し、研究医の早期学位取得と自立を支援する教育プログラムに取り組みなど、常に世界レベルを意識した研究・教育活動を展開しています。

一方、附属病院は、県内唯一の先端医療機関であり、高度医療の導入・開発に積極的に取り組んでいます。平成24年10月に放射線治療センターが開所され、最先端の放射線治療システムによるガン治療が可能になったことに加え、同25年4月には、全国の国立大学病院に先駆けて最新型内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチS.i」を導入。身体的負担の少ない最新式の内視鏡手術も提供されています。現在、本格的な病院再整備事業が進められており、平成28年には高機能手術室を整備し

研究、教育活動と地域医療の拠点である山梨大学医学部

大好きな中央市。将来的には親を呼び寄せ、一緒に暮らせたらと思っています。



山梨大学臨床教育センター
医師
秋田 知子さん

中央市に住むようになって8年になります。大学の二次試験を受ける

ために初めて来たときから、「なんて良い所なんだろう」と、すぐに好きになりました。何より家の窓から富士山が見えるというのがたまら

なく嬉しくて、家族や友人にも自慢しているんですよ。

暮らす人の人柄もいいですよ。患者さんと接していても、「山梨の人ってあったかいなあ」と感じる場面が多くありますし、自然が多いのに生活が便利なのも気に入っています。遠くへ派遣されない限り一生住み続けたいと思っています。

山梨大学には尊敬できる先生が多く、働きやすい環境も整備されていると感じています。来年から放射線科の医局に入局し、がん治療に携わりながら、3年後に認定医、5年後に専門医の取得を目指します。緩和治療も学び、ゆくゆくは患者さんに寄り添える腫瘍専門医になって、地域に密着した仕事をしていきたいと考えています。

Interview



た新病棟が完成するなど、地方都市にあつて最先端の医療が受けられる環境が整いつつあります。

市民の身近な存在として、 地域との連携も進んでいます

開校から30余年、山梨大学を中心とした都市整備も進み、文教地域の色合いが濃い、落ち着いたまちが形作られています。周辺には、内科、耳鼻科、小児科、皮膚科、眼科など多くの個人病院も開業しており、安心感を醸成しています。

一方、山梨大学には、地域医療への貢献という使命があり、山梨大学附属病院、山梨県、地域医療機関と連携したさまざまな取り組みも行われています。

中央市との間では、平成18年に「中央市と国立大学法人山梨大学との包括的連携に関する協定」を結んでいます。市民にとっても、山梨大学および附属病院は身近な存在となっており、広報誌への附属病院の医師による健康指導の寄稿、市立図書館からの待合室や小児科病棟への絵本児童書の配本、市立保育園の職員を対象にした応急処置の訓練など、幅広い分野でさまざまな連携が日常的に行われています。

Academic place of learning, base of local medical services

The University of Yamanashi, Faculty of Medicine, where students gather from all over Japan.

Since its establishment in 1980, the place for medical studies that is working with local community, and along with the university hospital that is offering advanced medical treatments, now support greatly for development of local medical services.



文教地域として地域とともに発展する山梨大学附属病院

Interview

人生の半分近くを過ごした中央市。
これからもこの街で頑張っていけます。



山梨大学医学部附属病院
看護師
細野 英伸さん

大学入学と同時にこちらに来ましたから、もう16年になります。この間ずっと中央市に住み、大学へ通い、卒業後は附属病院に勤務してきました。私が初めて来た頃には、環状道路もショッピングセンターもなく、田畑が広がる中にポツンとキャンパスがある状態でしたが、今では都市化が進み、とても便利で住みやすい街になったなあと感じます。

幼い頃から何度も入退院を経験していて看護師という職業が、身近な職業だったこと、尊敬する母が看護師だったことから、私自身も看護師を目指すようになりました。卒業後は、地元群馬の病院への就職も考えましたが、職場環境の良さ、暮らしやすさなどが決め手となって、山梨での就職を決めました。以来12年

間、整形外科病棟で、患者さんに寄り添い、日々回復の喜びを分かち合えることに、嬉しさを感じてきました。昨年副師長を拝命し、ますます責任を感じています。とはいえ、まだまだ道半ば。日々学ぶこと、身に着けるべきことも多いので、今後も精進を続けていきたいと思っています。





特集 **3**

守り育み未来へつなぐ

子どもは、未来を担う地域の宝物。

すべての子ども達が幸せに暮らせるよう、

誰もが安心して、生み、育てることができるよう、

一人ひとりに寄り添った支援を行っています。



積み木を楽しむ玉穂保育園の子ども達



乳児健診

不妊治療の助成から、ママ友も作れる親子教室まで、幅広く子育てを応援。

女性だけでなく男性を対象にした不妊治療助成も実施するなど、妊娠前から、妊娠、出産、子育てへと、スムーズに移行できるよう、切れ目のない支援を行っている中央市。なかでも好評なのが、毎月計6回、玉穂総合会館と田富総合会館で開催されている、0〜3歳の未就園児と保護者を対象にした「親子教室」です。リトミックやリズム体操など、専門の指導者による年齢に合わせたプログラムが、年会費千円程度でも受けられるとあって、毎回多くの親子連れが参加し、とっても賑やか。ママ同士の交流の場ともなっていて、終了後には連れ立ってランチに出かける姿も見られます。

Interview

働きながら子育てをするというのは、想像以上に大変なこと。私達が力になりますので、自信を持って社会で活躍してください。



中央市立玉穂保育園
梶田 直美 先生

園にはいろいろなお子さんがいますが、どの子どももみな楽しく過ごせるよう配慮するとともに、それぞれが自信を持って成長していけるよう、小さな成長や変化を見逃さず、声をかけるようにしています。保育士になって30年近くになりますが、子どもが成長していく姿って本当に素晴らしいですね。今も毎日新鮮ですし、日々子ども達に助けられ、勉強させてもらっていると感じています。

保育園に子どもを預けて働くことに、少なからず罪悪感を持っているお母さんも少なくありませんが、母親の頑張っている姿は、お子さんにとっても誇りです。私達保育士が力になりますので、ぜひ自信を持って社会で頑張ってくださいね。

保育園

●玉穂保育園

〒409-3815 中央市成島2387-2
TEL:055-273-2205
乳児保育：6ヶ月～ 定員：180人

●田富第一保育園

〒409-3841 中央市布施3015
TEL:055-273-3557
乳児保育：6ヶ月～ 定員：180人

●田富第二保育園

〒409-3843 中央市西花輪2002
TEL:055-273-3072
乳児保育：6ヶ月～ 定員：90人

●田富第三保育園

〒409-3842 中央市東花輪1173
TEL:055-273-6220
乳児保育：6ヶ月～ 定員：170人

●田富北保育園

〒409-3845 中央市山之神22-59
TEL:055-273-6301
乳児保育：未実施 定員：80人

●豊富保育園

〒400-1513 中央市大鳥居3790
TEL:055-269-2011
乳児保育：未実施 定員：120人

●社会福祉法人成島 まみい保育園

〒409-3815 中央市成島1072-1
TEL:055-273-3522
乳児保育：2ヶ月～ 定員：130人

認定こども園

●学校法人井口学園 認定こども園わかば幼稚園

〒409-3804 中央市井之口937-2
TEL:055-273-5737
保育時間(時間外・延長保育を含む):
7:30～19:00 定員：280人

●学校法人中沢学園 みかさこども園

〒409-3844 中央市白井阿原813-6
TEL:055-273-6386
保育時間(時間外・延長保育を含む):
7:30～19:00 定員：202人

□お問合せ先
子育て支援課
TEL:055-274-8557

Protecting, educating, and passing to the future

Children, who will take important rolls in the future, are our community treasure. Wishing all children can live happily, we offer every possible individual support for who is having a child and growing a child in peace, such as medical bill supports, mother-child classes held in the municipal offices, nursery schools in the city.

中央市の主な子育て支援

結婚

- 特定不妊治療費助成
- 男性不妊治療費助成

妊娠

- 母子健康手帳交付
- 妊婦一般健康診査受診票配布
- 妊婦相談

母親学級

- マタニティライフ教室
- マタニティヨーガと母乳教室
- パパママ教室
- 赤ちゃんふれあい体験

出産

- 児童手当
- 子ども医療費助成(中学3年まで)
- 赤ちゃん・産婦さん全戸訪問
- 産後ケア事業(ショートステイ)
- 乳児用チャイルドシート貸与
- 予防接種2ヵ月～

子育て(乳幼児期)

健診

- 乳児一般健康診査
- 整形外科健診
- 4・7・12ヵ月健診
- 1歳6ヵ月健診
- 2歳児歯科健診
- 3歳児健診

学級・教室

- 離乳食教室
- 遊びの広場
- 事故防止教室
- わくわくマクラス
- つどいの広場「笑(えみ)」
- 親子教室
- おやこふれあい広場

相談

- すこやか相談
- 子育て相談
- リフレッシュカウンセリング事業

その他

- 子育て短期支援事業(ショートステイ)
- 地域子育て支援拠点
- ファミリーサポートセンター
- ブックスタート(絵本プレゼント)

保育園

- 保育園
- 認定こども園
- 一時保育
- 保育体験「ほほえみ」

子育て(学童期)

- 就学児健診
- 児童館
- 学童保育
- 新入生ブックプレゼント



親子リミック

笑顔と笑い声でいっぱいの子育ての保育園。一人ひとりの心の中に、「まごころ」の種がまかれています。

社会復帰を目指すママ達の強い味方が市内にある7つの保育園と2つの認定こども園。未満児保育や一時預かりを実施し、子育てと仕事の両立を応援しています。

玉穂地区にある玉穂保育園では、豊かな自然環境や広い園庭を活用しての外遊びや体操、室内での創作活動、「おべんきょう」の基礎となる読み書きや数の操作の指導といった日常的な活動に加え、隣接する玉穂生涯学習館(図書館)への

訪問や、小学校との定期的な交流、外部の指導者を招聘してのマーチング活動など、特色ある活動も活発に行っています。

「こは子ども達にとって、もう一つの家庭。担当保育士だけでなく、園全体で育むという姿勢で、一人ひとりに寄り添った保育を心がけています」と、こやかに話す増田千代子園長先生。温かな雰囲気の中、伸び伸び元気に育つ子ども達。一人ひとりのなかに、未来を造る確かな力が育まれています。



待機児童の心配もなく、安心して子育てができます



地域創生

特集 4

文化の醸成

〈日本有数の図書館が紡ぐ文化〉

「日本の図書館統計と名簿2013」で、

蔵書冊数、貸出数、予算額、前々年度資料費決算額の

4部門で、堂々の1位を獲得した市立図書館。

年間貸出数38万冊を超える日本の図書館で、

豊かな心が育まれています。

※人口3万人未満の全国73市の市立図書館を対象としたランキング

市民生活に溶け込んでいる、 3つの図書館

「図書館は、本との出会いはもちろん、情報を発信したり、人と人との交流できる場所。私たちもそうありたいと考え、さまざまな取り組みをしてい

ます」と話す玉穂生涯学習館出井寛館長。館内には、子育て関連の資料を集めた子育て支援コーナーやカウンターなどちょっとした場所にもおすすめの本が紹介されていたりと、利用者の興味を惹く工夫があちらこちらで光っています。また、ボランティア団体との連携のもと、子育て中の親子や小学生を対象にした「おはなし会」を日常的に行っているほか、成人を対象にした文学教養講座やミニ健康講座の開催、夏休みには親子で参加できる教室を行ったりと、幅広い年代の市民が図書館に足を運ぶきっかけづくりにも力を入れています。



豊富図書館・児童書コーナー



田富図書館・おすすめ書籍コーナー



図書館からの子育ての応援

母親学級

妊婦さんへ、母親学級で絵本の読み聞かせの大切さの説明と、絵本や子育てに参考になる本の紹介をします。

ブックスタート

生後7ヶ月健診の赤ちゃんへ、すこやかに成長することを願って、絵本を手渡します。

新入生ブックプレゼント

市内の小学1年生へ、読書に親しむきっかけとなるような絵本を贈ります。

中一ブック便

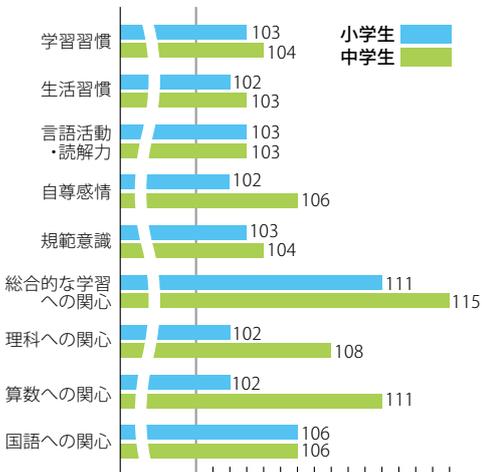
市内の中学1年生へ、学級文庫として市立図書館の本を貸出し、身近に本がある環境づくりの応援をします。

卒業生ブックプレゼント

市内の中学3年生へ、義務教育の終了を祝って、人生をより豊かなものにするを願い、心の糧となる本を贈ります。

学習意欲や生活習慣に関する調査

実施日：平成27年4月 対象：小学6年生・中学3年生



Engendering culture
～ Cultural variations offered at our library that is eminent in Japan ～

Our municipal library received as the top ranked city library in the four categories of “Japanese Library Statistics and Name List in 2013,” such as in book collection number, book rental number, amount of budget, and amount of paid cost for references in the two fiscal years before. The Japanese number one library, where more than 380,000 books are rented, is the vital source for lively residents.



クリスマス会や読み聞かせなどのイベントも行っている



「読書好き」な子を育てています。レゼントと、子ども達の成長に寄り添い、本との出会いを提供している中央市。図書館では、母親学級や乳幼児健診で読み聞かせの大切さや本の選び方をお母さんに伝えたり、児童館、中学校へも年齢に即した本を選書して配本したりと、フォローアップ体制を整えるとともに、授業で必要な蔵書を充実させるなど小中学校とも連携しながら、「読書好き」な子を育てています。

田富図書館開館20周年記念事業、中井貴恵さんによる読み聞かせ

Interview



玉穂生涯学習館司書
田中 佐智子さん

中央市には、3つの図書館と学校をつなぐ仕組みがあり、早ければその日の午後にも別の図書館から取り寄せることができますし、学校にも授業で必要な資料や辞書、書籍などを揃えて届けています。また、県内ネットワークでつながっていますか

すね。お子さんも大歓迎ですから、気兼ねなく来館していただきたいと思います。



子育て中のお母さんが、ベビーカーを押して、散歩中のおいちゃんとお孫さんが手をつないで、そんなふうには、誰もが気軽に立ち寄れる場所でありたいですね。

ら、言うなればここは世界への扉。本が、知らない世界を教えてください、図書館もまた、人と本、人と人とを結び、豊かな時間を過ごせる場でありたいと思っています。中央市の図書館はどこもアットホーム。赤ちゃんも、小さな

農薬をほとんど使わない
ロックウール栽培のトマトが人気！

四季新鮮収穫広場
「た・から」農産物直売所

富士山を背景に、美しい田園風景が広がる田舎地区。その真ん中に位置する「た・から」には、生産者が畑から直接運んでくる、採りたて、もぎたて、掘りたての野菜や果物が、彩り豊かに並んでいます。

ブログ「農産物直売所た・から日記」では生産者である組合員をご紹介します。作り手の顔がわかる安心・安全な野菜としても人気を呼んでいます。

毎月第4水曜日を「た・からの日」、開業日である5月23日を「創業祭」として楽しいイベントを開催しています。また、平成27年12月には来場者が150万人を突破しました。



上:「た・から」外観 下:新鮮な野菜が並ぶ直売所

直売所甲子園2009
初代グランドチャンピオン

道の駅とよとみ

朝採り野菜をはじめ、中央市が誇る特産品がずらりと並ぶ農産物直売所。新たな特産品の開発や、農産物の加工・販売を生産者自ら手掛ける「6次産業化」にも取り組んでおり、珍しい野菜や加工品にも出会えます。豊富地区で飼育された高品質な豚肉を、ハムやソーセージに加工して販売する「与一味工房」、新鮮な地元野菜やブランド豚甲州富士桜ポークをふんだんに使ったメニューや「青春のトマト焼きそば」が味わえるレストランなど、併設の施設も充実。収穫体験も楽しめる「スイートコーン収穫祭」をはじめ、年間を通して開催されるさまざまなイベントにも、多くの観光客が訪れています。



上:道の駅とよとみ外観 下:スイートコーン収穫祭 農産物直売所

日本有数の繭の生産地だった
歴史を今に伝える

シルクふれんどりい

日帰り入浴もできる全国有数の高アルカリ温泉と、陶芸、つむぎ織り、繭工芸が楽しめる体験工房、そして、甲州富士桜ポークをはじめ、新鮮な地元食材が存分に味わえるレストランを携えた宿泊施設。近くには、甲斐源氏の武将浅利与一の名を冠した「与一弓道場」があり、例年10月には弓道大会が開催されます。



一方隣にあるのは、民具や農具を中心に7500点以上の収蔵資料を持つ「豊富郷土資料館」。この地域の昔の暮らしや、養蚕の歴史を今に伝える貴重な品々が展示されているほか、春から秋にかけては蚕も飼っています。

「養蚕の歴史」

かつて豊富地区（旧豊富村）は、見渡す限り桑畑が広がり住民の大部分が養蚕業に従事する、全国屈指の養蚕地帯でした。最盛期の1970年頃には、約700軒の養蚕農家が生糸の原料となる繭を生産・出荷していたといえます。80年代に入り、低価格の輸入品の普及や農家の高齢化によって衰退してしまいましたが、豊富郷土資料館で、蚕とともに生きた農家の歴史に触れることができます。



豊富郷土資料館



シルクふれんどりいの高アルカリ性硫酸温泉

日本の真ん中、人が真ん中！中央市

中央市が掲げる将来像一。

それはすべての市民が豊かで快適な生活を送ることができる「実り豊かな生活文化都市」です。

その将来像を現実のものにするため、

「自立した活力ある市の創造」「自治力の確かな市の創造」
「文化度の高い市の創造」「やすらぎとふれあいのある市の創造」の

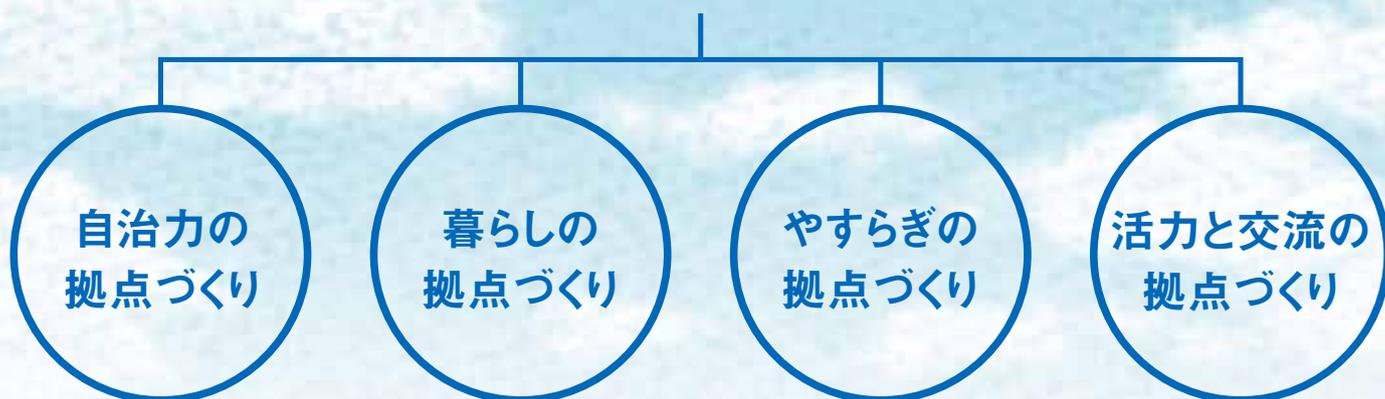
4つを基本理念に据えています。

さらに将来像と基本理念を達成するための基本政策として、

「自治力の拠点づくり」「暮らしの拠点づくり」「やすらぎの拠点づくり」「活力と交流の拠点づくり」を進めています。



実り豊かな生活文化都市を目指して



中央市のキャラクター紹介



とまチュウ

市内のとある農園で生まれたトマトの妖精。中央市や特産品のPRに奔走する、中央市商工会青年部所属の女の子です。



あさり よいち 浅利与一

鎌倉時代に豊富地区を領有していた甲斐源氏の武将 浅利与一 義成公。壇ノ浦の戦いでも活躍した弓の名手で、「三与一」の一人と称されています。



たか お高やん

明治初期、田富地区で生まれた美声の持ち主。釜無川築堤工事の際、美しい歌声で「粘土節」の音頭をとり、村人を勇気づけて、難工事を完成させました。

効率的で温かみのある 市役所の創造

自治力の
拠点づくり

市民の皆様にとって、頼りになる身近な存在であり続けるため、行政運営のさらなる効率化、財政運営の健全化、職員の資質向上、誰もが利用しやすい環境の整備に取り組んでいます。



ロビーに、ベビーベッドやソファ、多言語によるわかりやすい案内板、ポルトガル語や手話の通訳者を配すなど、すべての方が利用しやすいよう窓口サービスの充実をすすめています。平成28年4月には、住民票や戸籍証明書のコンビニ交付も始まります。

企業誘致に成功する一方、コンビニ収納を実施するなど、収納の利便性を高めることで税金の徴収率もアップしており、財政状況は安定しています。今後も引き続き行財政改革を推進するとともに、職員研修や人事交流を通して、職員の能力、資質の向上に努めていきます。



玉穂庁舎
ポルトガル語の
通訳

現在、市では、田富庁舎の増改築を含む庁舎整備をすすめています。誕生から10年、既存庁舎を活用した3庁舎体制で運営してまいりましたが、今後は「効率的で温かみのある」行政サービスの協働拠点をコンセプトに、田富庁舎を本庁舎とする1本庁舎2支所体制の構築に取り組んでいます。

玉穂庁舎手話の通訳



中央市役所田富庁舎



小中学生と市長の対話室

住民参加のまちづくり

さまざまな媒体を活用した双方向での情報共有化を推進し、市政運営に市民の皆様の声を積極的に反映するとともに、民間企業やNPO、自治会等との協働もすすめています。

自治力の
拠点づくり



やまなしのへそブログ

広報

広聴



中央市のホームページ

ホームページから送付できる「市長への手紙」

市では市民生活に広く影響を及ぼす計画や条例、さまざまな施策を決める際に「パブリック・コメント制度」を導入しており、市長と直接話ができる「市民と市長の対話室」や「タウンミーティング」、ホームページから意見を送付できる「市長への手紙」などを通して広く市民の皆様の意見や提案をお聞きし、積極的に市政に反映しています。また、未来を担う子ども達と市長が直接意見交換する「小中学生と市長の対話室」は10年目を迎え、夏休みの恒例行事となりました。

一方、民間企業やNPO法人との協働がすすむ公共施設の管理運営についても、利用状況や市民のニーズに応じた運営体制の見直しを適宜行うなど、より多くの方に活用される公共施設づくりをすすめています。

今後も、市民の皆様が自治意識を持ち、主体的に自治活動が行えるよう、ホームページ等を活用した双方向での情報共有化に努めるとともに、自治会など自治組織の活性化に向けた支援も引き続き行っていきます。



タウンミーティング



日本語教室



外国籍の住民との交流会「フレンドシップちゅうおう」



中学生海外語学研修



中学生海外語学研修でケアンズ市役所（オーストラリア）を表敬訪問

多様な文化とのふれあい

外国籍住民の多い地域特性を活かし国際交流を推進。
多様な文化の理解と共生をすすめる一方、海外での語学研修を実施するなど、
国際感覚豊かな人材の育成にも取り組んでいます。

自治力の
拠点づくり



ポルトガル語版情報誌
「MANAKA」

めいめい。
の育成にも努
覚豊かな人材

一方、未来を担う中学生には、海外語学
研修として、オーストラリアでのホーム
ステイとファームステイを実施。国際感

づくりをすすめています。

市では、国際交流協会やNPO法人な
どと連携し、行政情報や災害時の情報伝
達手段の多言語化を行うとともに、学習
支援教室や日本語教室、外国人法律相談
所を開設するなど、円滑な市民生活を支
援しています。また、在住外国人との交
流会「フレンドシップちゅうおう」や山梨
大学の留学生との「たべもの異文化交流
会」といった、外国籍住民が多い地域特性
を活かした身近な国際交流の機会を設
けるなど、相互の理解と共生によるまち
づくりをすすめています。

多様な文化が日常生活のなかに溶け込
んでいます。

中央市の外国籍住民の登録者数は、平
成28年1月現在で1356名。ブラジル
をはじめ、ベトナム、フィリピン、中国な
ど、さまざまな国籍を持つ人々が家族で
生活しており、市内の小中学校や保育園
に外国籍児童が多く在籍しているなど、

こころ豊かな暮らしへの 舞台づくり



自然景観や田園風景と、都市的景観の融合する中央市らしい景観を守りつつ、
インフラを整備して、さらに住みやすい住環境づくりに取り組んでいます。



市民の足、とまチュウバス

市内にある2つのＪＲ駅周辺の整備と、市コミュニティバス（とまチュウバス）の運行により、交通網の利便性の向上にも取り組んでいます。すでに市民の足として親しまれている「とまチュウバス」では、定期的なバスツアーを実施するなど、さらなる利用促進を目指しての取り組みも行っています。

2027年の開業を目指し、リニア中央新幹線の建設事業がすすんでいます。本市隣接地にリニア新駅が設置されることが決まり、期待とともに、新たな課題も生まれています。市では、さまざまな可能性を見据え、市民の皆様の声も取り入れながら、ＪＲ駅との交通連携の強化



通勤通学に利用される東花輪駅

や公共バスとの連携、公共施設、アクセス道路の整備といった開発計画に取り組んでいます。

市内のＪＲ身延線「東花輪駅」と「小井川駅」は、多くの市民の通勤通学に利用されています。市では、駐輪場の整備や送迎車専用レーンによるロータリー化など、駅周辺を整備し、利用者の利便性を図っています。

都市計画に基づき生活道路の整備を行うとともに、橋梁、歩道についても、必要に応じて補強や保全を行っています。また、現在269戸ある市営住宅については、老朽化に伴う建て替えや改築を順次実施し、安全で快適な住空間を提供しています。



小井川駅の通学風景



久保団地



新山梨環状道路により利便性が向上

快適で環境に配慮した 社会の実現

暮らしの
拠点づくり

3R運動や新エネルギーの活用を積極的に推進。
豊富地区では、生活排水や生ごみを衛生堆肥に加工して販売するなど、
循環型社会の実現に向けた取り組みがすすんでいます。



庁舎に設置されている使用済み小型家電回収ボックス

環境負荷の少ない循環型社会の実現に向け、市内自治会との連携のもと、ごみの分別回収と3R運動を積極的に推進しています。定期的な回収に加え、24時間受付可能なリサイクルステーションと、携帯電話やパソコンといった使用済み小型家電の回収BOXを、市役所の各庁舎に設置しています。また、すでに公共施設への導入がすすんでいる太陽光発電については、補助金を支給するなど個人住宅への普及を促進しています。

一方、生ごみの分別回収とごみの減量化にも取り組んでおり、生ごみ処理機器などの購入に際し補助金を助成しています。市内豊富地区にある「豊富クリーンセンター」では、生活排水から出る汚泥と生ごみから堆肥を生成し、「とよみクリーン」の名で市内各所で販売しています。



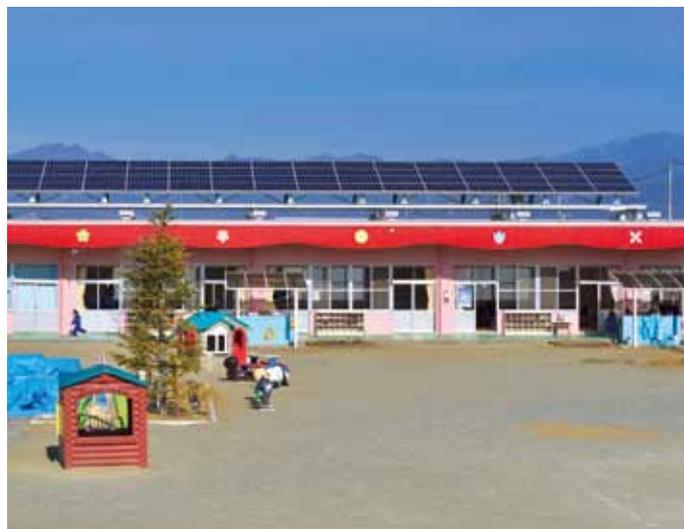
とよみクリーンセンター外観



便利な24時間リサイクル集積所



衛生堆肥「とよみクリーン」



田富第一保育園に設置された太陽光パネル



地域と連携して実施される防災訓練



地域の安全を守る消防団

安全・安心の地域づくり

「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、地域力を高め、災害や犯罪に強い、安全安心な地域づくりをすすめています。



地域ボランティア「子ども守り隊」

災害に強いまちづくりを目指し、ラインの耐震化や防災無線のデジタル化などのインフラ整備をすすめるとともに、「防災講習会や「地域防災リーダー養成講座」を開催するなど地域を核とした防災体制の確立にも努めています。また、市医師会とは災害時の医療救護所の設置を締結しており、発災時に迅速な救命活動を行うための体制を整えています。一方、外国籍住民や要介護者、高齢者など、自力で避難することが難しいと思われる要配慮者についても、自治会、民生委員、消防団との連携のもと「中央市災害時要援護者台帳」を構築し、万が一の事態に備えていきます。



交通安全街頭指導



防災リーダー養成講座

交通安全と防犯対策については、駐在所を「地域安全ステーション」とし、地域防犯活動の拠点として活用していきます。また、小学生の下校時間に合わせた「青色防犯パトロール」の実施、地域の子どもを守る「子ども守り隊」の活躍など、市民相互の連携による安全安心な地域づくりがすすんでいます。



健康体操サークルで楽しく無理なく運動



玉穂保育園のお絵描きの時間「じょうずに描けたかな？」

生きがいと安らぎの福祉

年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、すべての市民が住み慣れたこの地域で安心して生き生き暮らしつつけるよう、地域とも連携を取りながら環境づくりをすすめています。

やすらぎの
拠点づくり

働きながらの子育てを応援するために、市内にある公立保育園6園と私立保育園1園、加えて認定こども園2園を中心に、延長保育、一時預かりなどを実施。増加傾向にある未満児保育にも、定員の増加や一時預かりを担うファミリーサポートセンターの活用など対応策を講じています。

一方、高齢者には、いつまでも気力体力が充実した元気な姿でいていただけるよう、自治会との連携のもと、多様な公民館活動を推奨しています。また、自分で歩いて行ける身近な場所でのサロンづくりもすすめており、コミュニティの一員として他者と交流を持ちながら自分らしく生きられるよう支援していきます。

さらに、学習会の開催などを通して、障がい者への理解を深めるとともに、相談支援センターの開設や発達障がいコーディネーターの教育機関への派遣など、相談体制も強化し、誰もが暮らしやすい環境づくりに努めています。



できあがった料理のレシピも配られます



みんなで集い交流を持つことが元気の源に



料理教室

健やかな暮らしの実現

子どもの笑顔がいっぱいな中央市。
年齢をかさねても幸せな中央市をめざします。

やすらぎの
拠点づくり



親子教室での読み聞かせ



安心して子育てができる環境を提供しています

妊娠・出産・子育てにわたり切れ目のない支援を整備し、母親らが安心して楽しく子育てができるようサポートしています。



ヘルシー栄養教室

各種健康診断や保健指導、健康教室を開催し、「健康長寿」をめざした健康づくり事業を推進しています。



赤ちゃん抱っこ体験

市では中学三年生を対象に「思春期ふれあい教室」赤ちゃん抱っこ体験」を実施しています。命の大切さ、育児の大変さを実感し、親への感謝の気持ちを養う機会となっています。

安心と信頼の医療体制

山梨大学医学部附属病院を中心に、多くの医療機関が存在する中央市。
医療機関とも連携しながら、疾病予防や健康づくりに取り組むなど、
市民の健康的な生活を支援しています。

やすらぎの
拠点づくり



山梨大学医学部附属病院の新病棟

県内唯一の先端医療機関である山梨大学医学部附属病院を中心に、市内には内科、外科、小児科、耳鼻科、眼科、精神科、歯科など多くのクリニックが開業しており、安心してかかりつけ医をもつことができます。また、早くから疾病予防や健康づくりに取り組みやすい環境です。
地域包括ケアシステムの構築により、医療と介護の連携を推進し、安心して在宅介護・療養ができる環境整備にも取り組んでいます。

まごころをはぐくむ教育

やすらぎの
拠点づくり

教育の基本として「まごころ」を掲げ、生きる力をはぐくむ教育、命を大切にする教育、信頼しあう教育を推進しています。

市内には、小学校6校と中学校2校があり、落ち着いた環境のもと、バランスの取れた教育が行われています。市では、独自に採用した教員、特別支援教員を各校に配置しきめ細やかな教育に取り組みとともに、外国籍児童・生徒のための通訳派遣や学習支援も行っています。

平成23年に全小中学校共通の取り組みとして始まった「子どもが作る中央市弁当の日」は、今や恒例行事となりました。お弁当作りを通してのふれあいが、良好な親子関係をもたらすとともに、家庭と学校の連携も強まっています。

また、保存会の方々から直々に指導を受ける「粘土節」の授業(田富小学校)をはじめ、地域の特性を活かした特色ある授業も活発に行っています。

一方、中学校では、それぞれの強みを生かした部活動が活発に行われており、関東大会や全国大会出場といった顕著な活躍も見られています。



玉穂中学校剣道部



田富中学校合唱部



伝統工芸にふれる体験学習



小学校入学時に絵本をプレゼントする「新入生ブックプレゼント」

あらゆる世代への学びの提供

やすらぎの
拠点づくり

あらゆる世代の「学ぶ意欲」に応えるべく、関係機関やボランティアとも協働しながら、ライフステージに応じた多彩なプログラムや、レベルの高いカリキュラムを提供しています。

図書館との連携による本好きな子を育てる取り組みや、民間企業やNPO法人、県内各大学のボランティア学生などとの協働による「放課後子ども教室」を実施しています。

成人教育としては、生涯学習プログラムの一層の充実を図るとともに、高齢者学習に特化した「まごころ学園」でも、高いレベルのカリキュラムを実施し、地域の文化創造の拠点づくりをすすめています。専門的な知識を持つ市民が講師を担当するなど、新たな生きがいの創出にもつながっています。また、市内の文化財を巡る「ふるさとウォーキング」や「歴史文化講座」の開催、小学校の地域学習や高齢者の学習会を通して、郷土への理解を深め郷土愛を育む活動にも取り組んでいます。

健康増進を目的としたスポーツ活動も盛んです。市では、誰もがスポーツに親しめるよう生涯スポーツを推進するとともに、施設の整備にも努めています。



図書館イベントの読み聞かせに真剣なまなざしで耳をかたむける子ども達



山梨ビジネスパーク



高部工業用地



国母工業団地



株式会社はくばく



ニプロ医療電子システムズ株式会社

明日を担う商工業の振興

活力と交流の
拠点づくり

インフラ整備が進むなか、首都圏及び北関東へのアクセスの良さが飛躍的に向上した工業団地。進出企業はじめ、山梨大学や商工会とも連携しながら、産業振興に取り組みます。

圏央道および北関東道路の開通により北関東方面へのアクセスが飛躍的に向上したことから、本市の評価も高まっています。現在、市内にある3つの工業団地には大手優良企業が並び、空き地はほとんどありませんが、経営方針の転換や撤退などあらゆる状況に機敏に対応できるように、今後も優良企業の誘致を続け、雇用の安定に努めます。

また、山梨大学との包括的連携協定に加え、本市にある多様な業種の企業群と山梨大学が参加する「コンソーシアム」を設立するなど、産学官の連携強化を推進するとともに、製品開発や特許を有効活用し、産業振興を図ります。

一方、商業については、商工会を中心に活動をしています。青年部が推進する活性化策「中央市まちづくりトマト計画」から、看板メニュー「青春のトマト焼そば」が生まれ、市の新たな名物として定着しています。また、大型ショッピングセンターと



中央市が誇るB級グルメ「青春のトマト焼そば」

既存商店街との共存を図るべく、大型店への来客を地域の商店へ誘導する方策についても検討しています。

新たな視点での 農林業の活性化

活力と交流の
拠点づくり

環境、立地ともに恵まれた環境にある農業。
市場ニーズに合わせた高付加価値農産物の生産や効率的な農業経営を支援するなど、
「都市近郊型農業」としての産地の強化を図ります。



広く知られる中央市産トマトの美味しさ

気候、地形、流通面などで恵まれた条件下にある中央市は、地域ごとに特色のある農業がおこなわれており、美しい農村景観も維持されています。しかしながら、農業従事者の高齢化は確実に進行し、耕作放棄地も増加しています。こうした状況に歯止めをかけるため、市では、各種助成に加え、担い手の育成や、農産物のブランド化、販路拡大などに取り組み、「都市近郊型農業」としての産地の強化を図っています。また、農地拡大に意欲のある農家や農業法人への農地の集約をすすめ、効率的な農業経営ができるよう支援し、一般財団法人中央市農業振興公社と連携し、収穫体験農園や教育ファームも実施しています。

市内にある2つの農産物直売施設は、市内外から多くの来客があり、農家の経営を支えています。市では、今後こうした施設への支援を続け、地産地消も推奨していきます。



「た・から」農産物直売所では生産者の名前がわかるようにディスプレイしている



付加価値をつけた農産物のブランド化に成功したお米「富穂」



教育ファームの田植え体験



平成21年度全国直売所甲子園にて優勝した「道の駅とよみ」は重要な観光拠点でもある



山の神千本桜登山道にある展望台からの眺望



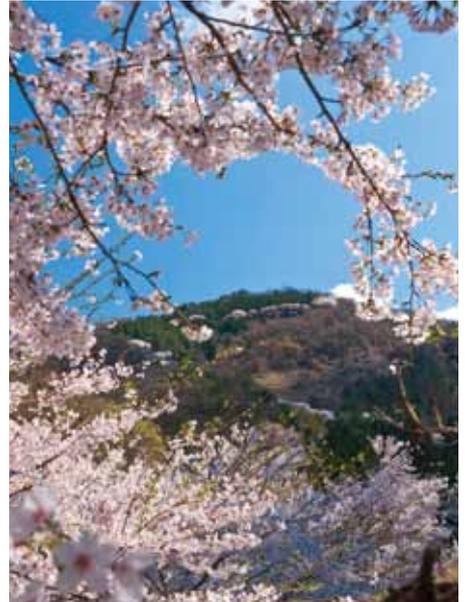
大根の収穫体験



親子ふれあい農村体験(ジャガイモの収穫)



スイートコーン収穫祭では収穫体験が大人気!



春になると多くの人が訪れる山の神千本桜

連携と挑戦の観光振興

農業との連携による体験型観光や新たな観光ルートの開発、イベントの開催、観光キャンペーンなどに取り組み、交流人口の増加と地域の活性化を図っています。

活力と交流の
拠点づくり



シルクふれんどりいをつむぎ織り体験



シルクふれんどりいでは陶芸やシルクフラワー制作なども体験できる

市では、集客力のある「道の駅とよとみ」を重要な観光拠点と位置づけ、魅力ある特産品の発信や開発に取り組み、季節ごとに収穫祭やイベントを開催し、交流人口の増加を図っています。また、人気が高まっている体験型の観光資源として、「シルクふれんどりい」で、繭工芸、つむぎ織り、陶芸が楽しめる体験工房を開催しているほか、農業振興公社との連携により、ジャガイモや大根の収穫ができる体験農園も実施しています。

さらに、中央市をより楽しんでいただくため、市内の2つの農産物直売所や温泉施設、史跡、登山道などを巡る観光コースを設定し、観光パンフレット等で案内するとともに、観光キャンペーン等を活発に行い、さまざまな魅力を広く発信しています。



左上から 田中航大君(駒澤大学2年)、望月駿君(中央大学2年)、有泉歩美さん(横浜市立大学2年)、川野祐希君(成城大学2年)、吉田叶美さん(学習院女子大学2年)、田中久雄市長、青柳瑞希さん(山梨大学2年)

中央市誕生10周年記念座談会 田中市長 × 成人を迎える皆さん

ふるさとの将来について 夢を語る。

玉穂町・田富町・豊富村が合併して中央市が発足した当時、10歳だった子ども達が今、成人に。20歳を迎えた市民の代表者達と、田中市長が語りあう中央市の未来。

田中 今、中央市はどんどん便利になっていて、それはそれで良いことだと思っけれど、反面、子どもの頃に見ていた風景が減っていくことには寂しさを感じます。僕は中学のときから陸上競技を続けていて、先日も県内一周駅伝に中央市の選手として出場させていただいたのですが、この風景の中を走るのはやっぱり気持ちが良いし、チームの人達や沿道の人に接して温かい気持ちにもなりました。こういうところはすこく大切だし、大きな魅力だと思うので、10年後も20年後も

原風景が広がる
美しきふるさとへの想い

市長 中央市が生まれて10年が経ちました。これまで、市は一体感を醸成することに最も力を注いできましたが、それもある程度達成され、今後は新たな歩みが始まります。さて、12年後のリニア開通が迫るなか、どのような姿になっていくべきか、今、非常に大きな課題となっていますが、皆さんはどのような未来を期待していますか？



「小中学生と市長の対話室」に参加した小中学生45名が表紙を飾りました。当時中3だった今回の出席者の顔も見られます。

残っていて欲しいなと思います。

川野 僕が今住んでいる世田谷には緑がたくさんあるのに、周囲には「田舎に住みたい」と言う友人がたくさんいます。何が違うのだろうかと思議に思っていました。だが、本物の自然には、空気とか、時間の流れとか、目に見えない部分で、東京の人工的な自然には無い良さがあるのかもしれないと気づきました。中央市には本物の自然がありますし、リニアが開通すれば、東京や名古屋へも1日1往復2往復できるようなので、大都市でしかできなかつた仕事もここでできるようなになるわけですから、環境を守ることで、ここで働きたいという人も増えてくれるような気がします。



青柳 先日母校の田富中学校へ行く機会があつたのですが、生徒数が減り、空き教室が目立って寂しく感じました。今後交通機関が整って利便性が向上し移住してくる人が増えれば、子どもの数も増えるのではないかと期待しています。

山梨大学に在籍しているため、附属小学校や附属中学校を見学させてい



ただ機会があるのですが、土に触れたことのない子や、草や虫に触ったことのない子が多いことに驚きます。中央市には、畑や田んぼもいっぱいありますし、ホテルやオオムラサキが自生する地区もありますよね。子ども達にとつて、都会と同じ教育が受けられることもいいかもしれないけれど、こういう場所で育つことで培われる人間性もすごく大事だと思うので、中央市ならではの教育をすすめてほしいなとも思います。

高年齢者も外国人も、誰もが自分らしく生き生きと働ける、時代のニーズに応えられるまちへ

望月 大学で法律の勉強をしているのですが、来年から始まるゼミでは、労働法のゼミに所属し、高齢者雇用について勉強しようと思つています。今後、少子高齢化が進みます進むなか、働き手の不足は深刻化するでしょうが、健康寿命は延びて、健康なお年寄りも増えるので、高齢者雇用

は大きな課題になっていくだろうと考えられます。もちろん僕たち若い世代も頑張るけれど、個人的には、高齢者にもっと活躍してほしいなと思つているので、中央市にも、高齢者にとつて働きやすいまちになって欲しいと思います。

有泉 先日、改めて中央市のことを調べた機会があつたのですが、外国籍住民の割合の高さに驚きました。これは、外国人にとつても住みやすいまちということだと思つています。交通機関が発達し便利になればさらに外国から来る人も増えると思つていますので、中央市には、国籍や肌の色、宗教、文化など、さまざまな違いを乗り越えて受け入れられるまちであつてほしいと思つています。

また、私は今横浜で暮らしていますが、こちらへ帰つてくるとホッとすると、ここがホームタウンなんだと実感します。この原風景や水のおいしさ、住みやすさは残しながら、時代のニーズに応えられる市になってくれたら嬉しいし、私も貢献していきたいと思つています。

吉田 東京へ出て一番ショックだったのが、山梨の知名度の低さでした。なので、まずは山梨をもっとPRすることが必要なんじゃないかと思つています。それと、リニアが開通すれば、羽田から品川経由で1時間足らずでこちらに来られるそうなので、外国人観光客の数も大幅に増えると思つられます。すでに外国籍住民が多く外国人と接する場面も日常的にあ

る中央市ですが、外国人向けの観光パンフレットや中央市を紹介するホームページを作るなど、海外に向けたPRをすることも大切だと思つています。今大学で海外との交流について学んでいるので、異文化交流とか観光といった面で私も貢献できたらと思つています。

市長 皆さんとは5年前にも同じような形でお話をさせていただいたのですが、立派に成長している姿を頼もしく感じますし、「地域貢献を」という心意気も本當にうれしく思つています。これからの中央市にとつて、皆さんのような若い力は重要です。私どもも活躍の場を整えていきたいと思つていますので、しっかりと力を蓄えていただき、さまざまな場面でその力を存分に発揮してもらい、中央市を共に盛り上げていきましょう！





開かれた議会運営で、 市政の発展をめざす。



名執 義高 議長



宮川 弘也 副議長



議会だより

中央市議会は、選挙によって選出された18名の議員で構成される意思決定機関であり、年4回（6月、9月、12月、3月）の定例会および、必要に応じて招集される臨時会で、条例制定をはじめ、予算や施策、その進行状況といった、市民の暮らしに関わるさまざまな案件や請願についての審議を行っています。

議会運営委員会、常任委員会、議会広報編集委員会が常設されており、議会運営委員会は議長の諮問に依りて議会の円滑な運営方法等についての話し合いを行い、また全ての議員が「総務教育」「厚生」「産業土木」3つの常任委員会のいずれかに所属して、関係する議案や請願などを詳しく審議するほか、必要に応じて特別委員会も開催されます。

議会広報編集委員会は「議会だより」を発行し、市民の皆様へ審議の様子をお知らせするとともに、議会日程の詳細や議事録もホームページに掲載しています。

主な施設

公共機関

庁舎

中央市役所田富庁舎	055-274-1111(代)
中央市役所玉穂庁舎	055-274-1119(代)
中央市役所豊富庁舎	055-269-2211(代)

保健福祉施設

玉穂勤労健康管理センター	055-274-8542
田富福祉センター	055-273-7300
田富福祉公園コミュニティセンター	055-274-2288
豊富健康福祉センター	055-269-3330
シルクの里デイサービスセンター	055-269-3330
大鳥居ふれあいプラザ	
高齢介護課	055-274-8556
豊富窓口課	055-274-8583
浅利川ふれあい館	
高齢介護課	055-274-8556
豊富窓口課	055-274-8583
中央市・昭和町障がい者相談支援センター 穂のか	055-274-1100

総合会館・公民館

玉穂総合会館	055-274-1116
〔中央市社会福祉協議会〕	055-274-0294
田富総合会館	055-273-4755
豊富中央公民館	055-269-2802

産業・観光・自然

農政・商工施設

四季新鮮収穫広場「た・から」農産物直売所	055-274-0831
道の駅「とよとみ」交流促進センター	055-269-3421
与一味工房	055-269-4115
豊富農産物直売所	055-269-3424
(財)中央市農業振興公社・豊富農業者研修センター	055-269-2411
中央市商工会	055-273-4141

公園・その他

玉穂ふるさとふれあい広場	055-274-8517
田富ふるさと公園	055-274-8517
豊富シルクの里公園	055-269-2280
豊富農村広場	055-274-8586
農村公園	055-274-8517
豊富郷土資料館	055-269-3399
シルク工芸館ふれあい館	055-269-2280
シルクふれんどりい	

子育て・教育・文化

児童館・児童館放課後児童クラブ(学童保育)

玉穂中央児童館 ☆	055-273-8271
玉穂北部児童館 ☆	055-273-7967
玉穂西部児童館 ☆	055-274-0097

田富中央児童館 ☆	055-274-2221
田富わんぱく児童館	055-273-0588
田富ひばり児童館	055-273-1417
田富杉の子児童館 ☆	055-273-1818
田富ひまわり児童館	055-273-0751
田富つくし児童館	055-274-3260
田富すみれ児童館 ☆	055-274-2353
豊富児童館	055-269-3067
豊富保健センター ☆	055-269-2238
社会福祉法人ひとふさの葡萄 またあした ☆	055-278-5070

※「☆」が付いている施設では「放課後児童クラブ(学童保育)」を実施

保育園

玉穂保育園	055-273-2205
田富第一保育園	055-273-3557
田富第二保育園	055-273-3072
田富第三保育園	055-273-6220
田富北保育園	055-273-6301
豊富保育園	055-269-2011
社会福祉法人成島 まみい保育園	055-273-3522

認定こども園

学校法人井口学園 認定こども園わかば幼稚園	055-273-5737
学校法人中沢学園 みかさこども園	055-273-6386

小・中学校

三村小学校	055-273-8711
玉穂南小学校	055-274-1122
玉穂南小学校下河東分校	055-274-1244
田富小学校	055-273-2117
田富北小学校	055-273-1760
田富南小学校	055-273-9111
豊富小学校	055-269-2012
玉穂中学校	055-273-8211
玉穂中学校下河東分校	055-274-1244
田富中学校	055-230-7080

図書館

玉穂生涯学習館	055-230-7300
田富図書館	055-274-3311
豊富図書館(分館)	055-269-4011

体育施設

玉穂 B&G 海洋センター	055-274-1121
田富市民体育館	055-273-1473
田富市民プール	055-274-1421
与一弓道場	055-269-2280
浅利弓道場	055-274-8522
浅利テニスコート	055-274-8522
農業者トレーニングセンター	055-274-8522

Chuo City Guide map

甲府南IC



太陽の恵みがいっぱい！
地元食材で生み出す、育てる、
おいしい特産品がたくさんあります。



青春のトマト焼そば

ソース味の焼きそばの上に、中央市産の完熟トマトと甲州富士板ポークをじっくり煮込んだミートソースをたっぷりかけました。どこか懐かしく食べると元気になる、中央市の新名物です。

とっても

おいしのでチュウ！



**青春のトマト焼そば
誕生秘話**

「中央市まちづくりトマト計画」を遂行中の商工会青年部。2007年の会合で出たのが、地元の祭りや恒例の青年部屋台焼きそばにミートソースをかける妙案でした。早速試食したところ、脳裏に蘇る懐かしい記憶。「これは、学生時代によく食べた某喫茶店の「ミートソース焼きそば」じゃないか！復刻でもいい、これを新名物にしよう」と、満場一致で誕生しました。“青春”には、彼らの「懐かしさと、情熱と、若さ溢れるまちづくりへの想い」が込められています。

「中央市まちづくりトマト計画」を遂行中の商工会青年部。2007年の会合で出たのが、地元の祭りや恒例の青年部屋台焼きそばにミートソースをかける妙案でした。早速試食したところ、脳裏に蘇る懐かしい記憶。「これは、学生時代によく食べた某喫茶店の「ミートソース焼きそば」じゃないか！復刻でもいい、これを新名物にしよう」と、満場一致で誕生しました。“青春”には、彼らの「懐かしさと、情熱と、若さ溢れるまちづくりへの想い」が込められています。



中央市ブランド米「富穂」

肥沃な沖積土壌で、農業と化学肥料を減らし大切に育てられたヒノヒカリ、もちもちとした食感で、おいしい特産品がたくさんあります。



フルーツトマト

サイズも味わいも豊富な中央市のトマト。水分を極限まで減らし、丁寧に育てられるフルーツトマトは、濃厚な甘さが自慢です。



とまと羊かん・トマトらー油・トマトジュース
中央市には、オリジナリティあふれるトマトの加工品もいっぱい。産地ならではの発想や工夫が、新しい味を次々と生み出しています。



コーン100%焼酎「恵」・「とよとみ」

特産の“ゴールドラッシュ”で醸造した珍しい焼酎。口当たりがよく、飲んだ後に甘く香ばしい香りが、ふわっと鼻に抜けていきます。



夏野菜の王者「ナス」

夏の日差しをたっぷり浴び、豊富な地下水をしっかりと吸って、元気に育った濃紫色のナス。皮が柔らかく瑞々しい、中央市の特産品です。



とうもろこしドレッシング
1本(300ml)に、“ゴールドラッシュ”1本使用。自然な甘さと果産米酢とヨーグルトの酸味が、野菜を引き立てます。



ブドウとコーンのワイン「夢」

特産の“ゴールドラッシュ”と豊富産のブドウで醸造した、日本初のトウモロコシワイン。さわやかな甘さが広がる、デザートワインです。



スイートコーン「ゴールドラッシュ」

糖度17度以上のフルーティな甘さと、皮の薄さで、絶大な人気を誇る豊富地区の特産品。6月上旬から10月上旬まで楽しめます。



とよとみハム

豊富地区の豊かな自然のなかで飼育された上質な豚肉を用い、職人の技で仕上げました。素材を活かした豊かな風味が味わえます。

主な施設

 中央市役所田富庁舎 中央市白井阿原301-1 TEL:055-274-1111(代)	 中央市役所玉穂庁舎 中央市成島2266 TEL:055-274-1119(代)	 中央市役所豊富庁舎 中央市大島居3866 TEL:055-269-2211(代)	 山梨大学医学部附属病院 中央市下河東1110 TEL:055-273-1111	 田富総合会館 中央市布部2382 TEL:055-273-4755	 玉穂総合会館 中央市下河東20 TEL:055-274-1116
 玉穂勤労健康管理センター 中央市下河東256 TEL:055-274-8542	 豊富中央公民館 中央市大島居3800 TEL:055-269-2802	 玉穂生涯学習館 中央市下河東1-1 TEL:055-230-7300	 田富図書館 中央市白井阿原240-1 TEL:055-274-3311	 豊富図書館(分館) 中央市大島居3866(豊富庁舎内) TEL:055-269-4011	 玉穂B&G海洋センター 中央市下河東256番地 TEL:055-274-1121
 田富市民プール 中央市白井阿原1740番地120 TEL:055-274-1421	 豊富市民体育館 中央市白井阿原1740番地80 TEL:055-273-1473	 四季新鮮収穫広場 「た・から」農産物直売所 中央市白井阿原102-1 TEL:055-274-0831	 与一味工房 中央市浅利1010-1 TEL:055-269-4115	 豊富農産物直売所 中央市浅利1010-1 TEL:055-269-3424	 道の駅「とよとみ」交流促進センター 中央市浅利1010-1 TEL:055-269-3421
 田富ふるさと公園 中央市白井阿原1740-120	 玉穂ふるさとふれあい広場 中央市乙黒1-1	 豊富農村公園 中央市間原1018	 豊富シルクの里公園 中央市大島居1619-1	 シルク工芸館ふれあい館 シルクふれんどりい 中央市大島居1619-1 TEL:055-269-2280	 豊富郷土資料館 中央市大島居1619-1 TEL:055-269-3399

中央市市民憲章

中央市は、実り豊かな生活文化都市を目指しています。わたしたちは、長い歴史と自然の恵みにはぐくまれた郷土を愛し、心温かく希望にあふれるまちを築くため、ここに市民憲章を定めます。

- 一、 緑豊かな自然を守り、やすらぎのまちをつくります
- 一、 文化と伝統に誇りを持ち、未来を拓くまちをつくります
- 一、 元気に働き、豊かで活力あるまちをつくります
- 一、 地域を輪を広げ、笑顔のまちをつくります
- 一、 心と体を鍛え、まごころあふれるまちをつくります



市の木 桜



市の花 れんげ草



市の鳥 しらさぎ

山梨県中央市

日本の真ん中、人が真ん中ノ中央市

Mannaka

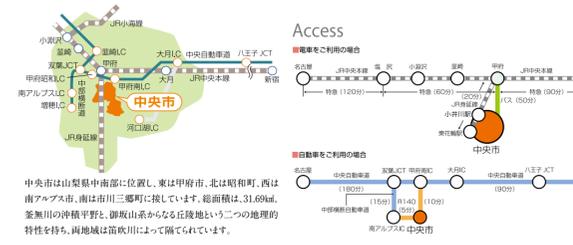
暮らしやすいまち

中央市
Chuo City

中央市勢要覧 2016

お問い合わせ
中央市政策秘書課
〒409-3892 山梨県中央市白井阿原301-1
TEL 055-274-1111 FAX 055-274-7130
URL <http://www.city.chuo.yamanashi.jp/>

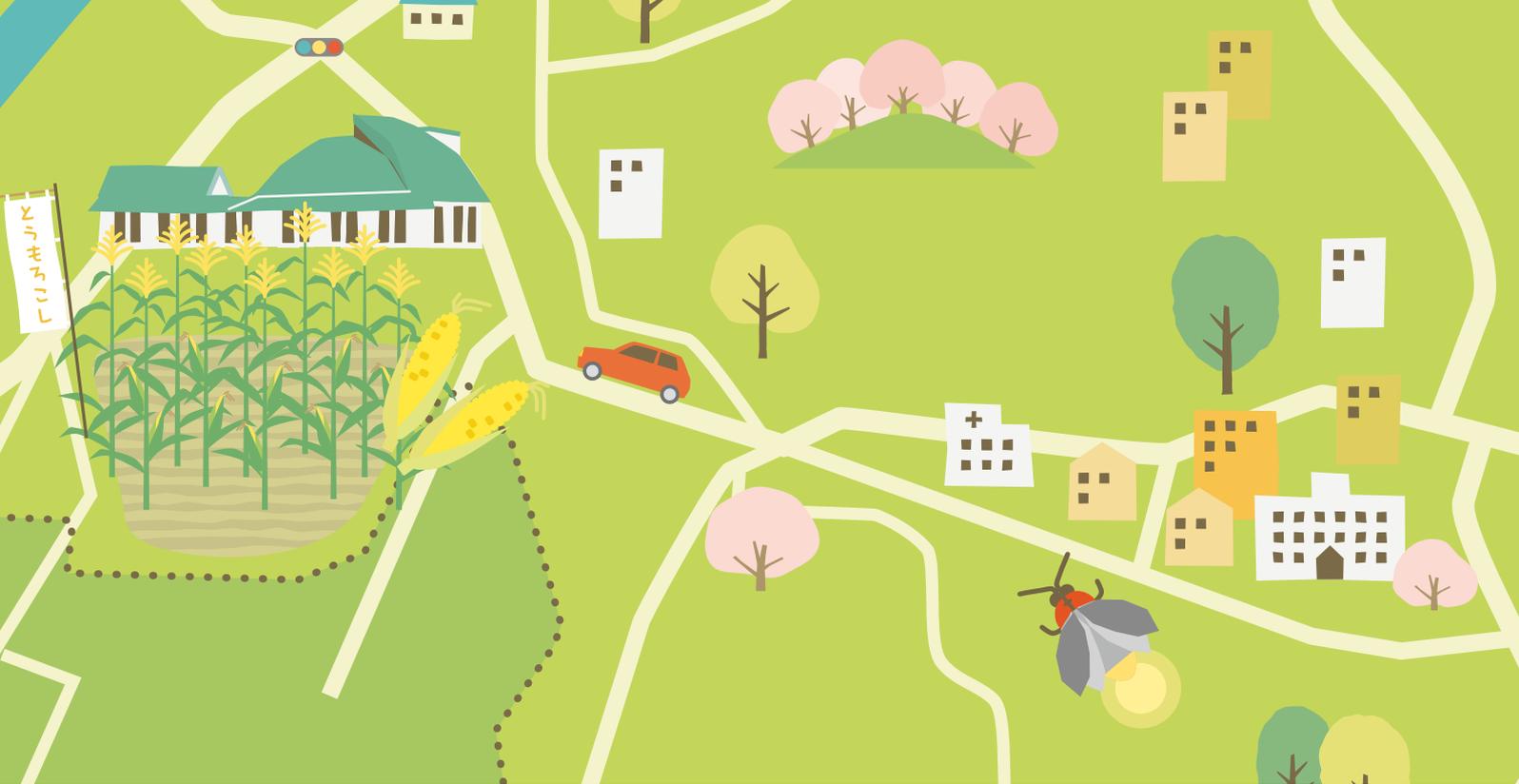
発行 中央市役所 平成28年2月
制作 株式会社 サンニテ印刷



Chuo City

中央市は山梨県の真ん中！
180度の大自然を周囲の美しい山並みが楽しめます。





中央市勢要覧 2016

お問い合わせ

中央市政策秘書課

〒409-3892 山梨県中央市白井阿原301-1

TEL 055-274-1111 FAX 055-274-7130

URL <http://www.city.chuo.yamanashi.jp/>

発行 中央市役所 平成28年2月

制作 株式会社 サンニチ印刷

